

# (一) 花園日開野線バイパス

## 位置図



## 概要

花園日開野線バイパスは、平成20年2月6日に完成供用しました。  
 当該新設道路は、徳島赤十字病院の移転改築とともに都市計画道路「芝生日ノ峰線」の整備と一体に進め、小松島市中心市街地の活性化の起爆剤とするとともに国道55号へのアクセス機能の向上と市内周辺道路の交通渋滞の緩和を担っています。特に、徳島赤十字病院は、地域医療機関との連携のもと、3次救急・災害医療救護・小児救急等、県南部の中核的医療施設であります。  
 このたびの供用により、都市計画道路と一体として、一般国道55号から小松島市中心市街地を最短で結び、交通の円滑や、花園日開野線のみならず周辺道路の渋滞緩和に大きく寄与するとともに、徳島赤十字病院への救急患者の搬送時間の短縮が図られるものと考えています。

## 概要図



## 整備効果

### 中心市街地へのアクセス向上

バイパス整備により  
 一般国道55号から中心市街地への  
 主要な道路の利用交通量が  
**11%(約1,900台)増加**

### 中心市街地の活性化に寄与

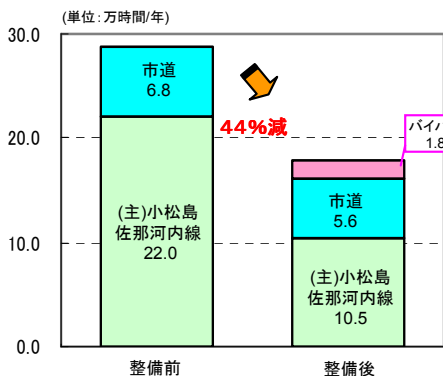
○利用交通量の増加  
 整備前 **16,230 台**  
 [(主)小松島佐那河内線+市道]  
 整備後 **18,146 台**  
 [(主)小松島佐那河内線+市道+バイパス]  
 ※交通量は7:00~19:00間の12時間交通量

## 整備効果

### 周辺道路の機能向上

#### ①周辺道路の渋滞が解消

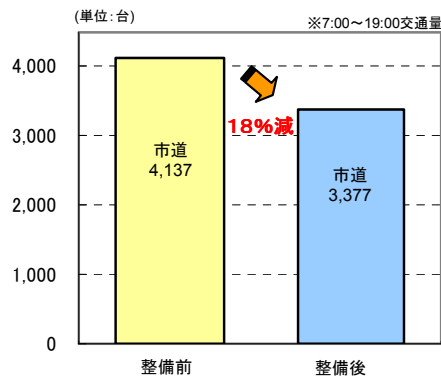
《バイパス整備による渋滞損失時間の推移》



バイパス周辺の主要な道路の  
 渋滞損失時間が**44%減**

#### ②歩行者・自転車利用者の安全性向上

《バイパス整備による市道の交通量の推移》



通学路である市道の  
 自動車交通量が**18%減**

### 救急患者の搬送時間短縮

バイパスの整備により**約4分間**の短縮  
 整備前**13.9分** → 整備後**10.0分**  
 (小松島市大林地区～徳島赤十字病院の場合)

**救命率が上昇**

例えば4分間の短縮により  
 ○呼吸停止の場合  
 死亡率85%→50%  
**救命率35%上昇**  
 ○多量出血の場合  
 死亡率10%→0%  
**救命率35%上昇**

《緊急時における時間経過と死亡率の関係》

